

通信

NO. 117
2022年10月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目
33番11-702号
☎092-409-4177

今月の
スケッチ

ちっご川・夏



私の最近の絵のテーマは筑後川です。

今回は、筑後川の第4作「ちっご川・夏」のスケッチ。夏空の下で、筑後川は悠々と流れ、遠く耳納連山の中腹に「高良さん」と親しみを持って呼ばれる“筑後国一の宮”高良大社が望まれる。

スタ
コラ

コロナ禍で思った
おしゃれについて
林田春美

おしゃれは、自分の為にするものと私は思っていた。

私がおしゃれと思う著名人や芸能人もよくそんなことを言っている。

そのスタンスは変わらない。しかし、テニスの壁打ちに例








第九回 日洋会福岡支部展






第9回 日洋会福岡支部展

会期 2022年11月15日(火)～20日(日)
9:30～17:30 (入館は17時まで)

会場 福岡市美術館 市民ギャラリーF
福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051 入場無料

日洋会は、「新しい日本の具象絵画の登竜門として、骨太の新人の発掘、育成」をスローガンに結成され、今年、第36回日洋展を開催し、今回、第9回福岡支部展が開催されます。

展示される作品は、10名の作家・約20点の作品が予定されており、私、大隈の作品「ちっご川・春Ⅱ」(油彩・F100号)も展示される予定です。

“芸術の秋”とも言われます。よかったですらお出かけください。

えるなら、毎回壁にボールを打って自主練習していても、誰かと対戦したくなってくる。

同様に、反応を返してくれる他人がいないと、自分の目指すところもぼやけてくるし、楽しくない。

他人のおしゃれに刺激を受け、そして自分のおしゃれへの反応を知って、新たな自分のおしゃれを確立する。

コロナ禍ではおしゃれにも手を抜きがちであったが、最近は何となく終わりそうな気がする。

着物を着付けて、皆でランチに行くという不要不急の行事も催されそうだ。

おしゃれ心を弾ませ自主練に励みながら、…新年会を待っている私である。

“みのりの秋”



暑かった気候が一転して秋の空気を運んできた。

近所の田んぼには、色づいた稲穂が頭を垂れ、秋晴れの空が広がっている。

Relationship & Partnership
ビジネス総研

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

☎092-409-4177 FAX092-409-4170

Eメール kuma@b-souken.com

<https://www.b-souken.com>



映画大好き
の山ちゃんが、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

ムヒカ



監督:田部井一真
ナレーション:安藤サクラ

2012年6月20日、ブラジル・リオデジャネイロで開催された国連持続可能な開発会議。“環境の保護と経済発展をどのように両立させるのか”を課題に論議された。

南米国・ウルグアイ東方共和国大統領、ホセ・ムヒカ・コルダノ氏が発言。はじまる前は注目されなかったスピーチは、その後さまざまな国の言葉に翻訳されて、世界中に広がり日本では本にもなった。

彼の「我々は、発展するために生まれてきたのではない、幸せになるために地球に生まれてきたのだ。…本当の貧しさとは、お金や物がなく、こ

こに(頭をさして)あるんだ」との発言が強く印象に残った。

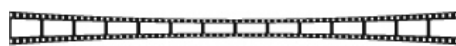
今の日本についてどう思うかとの記者の質問に、彼は「産業社会に狂わされていくだろうね、すごく進歩を遂げた国だと思う。でも、日本人が幸せかどうかは疑問だ」

なぜ日本のことをご存知なのですか…

「読書がすきでね…ペリー提督が日本を訪れた時代を読んだことがあるよ。当時日本は鎖国していて“西洋人は泥棒”と思っていた時代、あながち間違いではなかったけど、賢い政策で対応した。西洋の進んだ技術に対抗できないことを認め、彼らに勝る技術をつくろうと頑張った。そしてそれを成し遂げた。実際にね…でもその時日本の魂を失った。」

2016年4月、日本に招待され来日。広島訪問をはじめ、東大での講演では若者たちとも交流を行った。

来日後の日本に対する感想を含め、是非このドキュメンタリーの鑑賞をお薦めします。…



くまさんのコンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

内閣支持率続落

岸田内閣の支持率が下がり続

けている。

NHKがおこなった10月の世論調査によると、内閣支持率は9月調査より2ポイント減の38%、不支持率は3ポイント増の43%と、9月にはわずかに上回っていた支持と不支持が逆転した。

これは、反社会的集団旧統一教会への岸田首相の対応について「全く評価しない」と「あまり評価しない」が73%が回答し、安倍元首相の「国葬」を「評価しない」が54%と過半数となっていることが影響しているとみられている。

さらに、物価高騰への対策どころか平和と暮らしを圧迫する、国防費という軍事費の1.6倍化計画への批判、明らかになった長男の政務担当秘書官への登用は、「国費で後継者育成か」などの批判が広がっている。



編集後記

2022年の下半期がスタートした。

コロナ禍がまだ収まらない中、海外からの旅行者受け入れが始まり、国内旅行への補助も開始されたが、まだ、再流行への不安を感じている。



Relationship & Partnership
B ビジネス 総研

<https://www.b-souken.com>